

2025 年 11 月 28 日

日本共産党岡山市議団の林潤です。

会派を代表して、令和 6 年度決算について、市長も出席する本会議で討論をします。

市の予算執行が法に照らしてどうか、事務に不備がないか、は監査委員や弁護士、公認会計士もチェックしてくれています。

私たちは、議会の行う決算審査は、適法かつ正当に支出等されたかどうかには留まらず、税金の使途として相応しいかどうか、特に物価高騰の昨今、市民生活や事業者の支援との優先順位はどうか、事業評価を含めるべきだと考えています。

改めて、決算審査での態度表明と本会議で討論する理由を申し述べて、討論に入ります。

20 の決算のうち、執行の大半は問題ありませんが、認めがたい内容を含む 4 件について不認定とすべき理由を述べます。

※決第 1 号 令和 6 年度岡山市一般会計歳入歳出決算について

競技スポーツ振興事業費 多目的屋内施設（アリーナ）整備事業費 追加調査の費用

地元プロチームのホームアリーナの位置づけでしたが、追加調査を受けて規模が拡大され、コンサート会場としての収入が採算の柱のエンタメ施設としての色合いがますます強まりました。

自治体が税金で作るべきではない施設です。

路面電車の岡山駅前広場への乗り入れに係る支出

線路 100m の延伸に 10 億円から始まって、岡山駅前広場の改修が加わり、地下街の補償費が嵩み、費用が激増してきました。利用者の増加、とりわけ高齢者・障害者の利用実態の把握や増加の見込みが不明なままです。

工事が進んでいるからといって追認することはできません。

決第 1 号のうち水道事業にかかわる吉井川関係を含む広域水道企業団関連の歳出および決第 13 号 令和 6 年度岡山市水道事業会計決算について

水道料金は 2024 年度に値上げ第一弾として 15.7%の引き上げが行われました。

水道局は、岡山市水道に関する意識調査で「災害対策のための料金改定に対する考え」として「令和 6 年 4 月の料金改定の主な目的は、大規模災害に備えた水道施設の更新及び耐震化など、安全安心な水道水を安定して提供するためです。料金改定について、あなたのお考えに最も近いものをお選びください」と質問しています。

料金値上げか、耐震化の放置か、の二者択一のように市民に示しながら、料金は値

上げし、管路更新は年に1%から0.7%に遅らせているの市民を欺くものです。

一般会計からの繰り入れは法的に禁じられているわけでもなく、国のペナルティもありません。広域水道企業団からの受水費の無駄を減らすといった財源確保の方法もあります。

値上げせずに安全・安心な水の供給を維持する方策を採用すべきでした。

広域水道企業団からの受水費に関わる歳出、および料金値上げが認められません。

家庭系ごみ袋の手数料収入と作成、保管配送と販売の委託費

プラ資源の分別や生ごみの資源化こそが本質的な減量策で、市の施策として推進すべきです。

有料ごみ袋は環境施策やごみ処理費用に充てるためだと思われている市民もありますが、環境施策はごみ袋が無料でも必須です。市も使途として環境施策のアピールはやめていきます。

衛生環境を守るのは自治体の責任として税金でまかなうべきであり、家庭ごみ有料化はやめるべきです。

市立保育園・幼稚園の統廃合に係る支出

未入园児は2023年度の613人から2024年度は692人と増加していました。

市立園の統廃合にマンパワーや予算を割くのではなく、充実させて、兄弟で別々の園に入れなくてはならないなどの事態を解消して、希望する園、地域の園に入れるようにすること、きめ細かくセーフティネットを確保することが必要です。

岡山っ子アセス

非認知能力といったペーパーテストで測れない力の大切さが言われます。

全国的には低学年の通知表や業者テストをやめた学校も出てきています。

岡山っ子アセスは、先生が自ら問題を作るのが特徴でした。それが企業のテストに変わり、全国比較を出すようになっていきます。全国学テ対策の色合いがますます強まっているテストはやめるべきです。

学校給食調理の民間委託に係る積立金

決算審査で、特に小規模校では民間委託の方が1人当たりの費用が高いことが明らかになりました。大規模校でも決定的なコスト削減にはなっていません。

学校生活と一体である給食の調理を担う調理員は、ほかの学校職員と同様に市の直接雇用で確保すべきです。

直営と委託の差額を算出して、施設整備のためとしてインセンティブにしてきたやり方は問題です。よって認められません。

自衛官募集事務に係る歳入と歳出

外交・防衛は国の専管事項だ、と市民の安全にかかわる問題も答弁は避ける姿勢の一方で、自衛官募集にはかかわるのはおかしいです。

自衛隊の求人資料の郵送のための市民の氏名と住所の提供と合わせて、問題だと指摘します。

匿名加工情報手数料と匿名加工情報加工委託費

個人情報の保護が重視され、メールの送り先を間違えたら事件になる時代に、匿名加工するからといって行政の持つセンシティブな個人情報を企業の利益のために提供すべきではありません。

北斎場関連の推進協議会の要望事業の費用（道路整備）

北斎場の本体工事は済みましたが、推進協議会の要望事業の道路整備が残っています。地域に必要な道路なら、斎場と関係なく整備すべきです。推進協議会の要望で周辺整備にお金を出すのは、住民の分断を産むおかしなやりかたです。認めるべきではありません。

瀬戸内市新火葬場の負担金

市の必要炉数の計算は過大であり、瀬戸内市に岡山市分の炉を確保する必要性はありません。瀬戸内市の火葬場を岡山市民が使用する場合は、個々に補助する方が市の負担総額を抑えられると指摘してきました。納得のいく比較もないままで認められません。

決第 2 号 令和 6 年度岡山市国民健康保険費特別会計歳入歳出決算について

保険料が値上げされました。国民健康保険は年齢構成が高く、医療費が高くなる等の構造的な課題が指摘されていきました。2024 年度中にも進んだ物価高騰を鑑みると、やはり公的な負担まで引き上げるべきではありませんでした。保険料の値上げ自体が認められません。

決第 10 号 令和 6 年度岡山市後期高齢者医療費特別会計歳入歳出決算について

高齢者に出産育児一時金の一部と若年層の負担軽減分の負担が押し付けられ、後期高齢者医療制度の保険料が引き上げられました。少子化は高齢者の責任ではありません。子育て支援策は必要ですが、負担の求め方が間違っています。認めることはできません。

議員各位のご賛同を賜りますよう、お願いして、反対討論を終わります。